

政治経済学部カリキュラム【2017年度～2021年度入学者】

科目区分		科目												
		4つの科目群から各4単位以上修得すること												
基礎科目	28	人文科学科目群		社会科学科目群		自然科学科目群		総合科目群						
		哲学概論、哲学史、基礎論理学、論理学概論、歴史学★、国語表現★、日本文学★、外国文学、言語と文化、教養基礎講座、留学認定科目（基礎科目・人文）		法学★、地理学★、文化人類学★、現代心理学、心理学概論、文化論概論★、異文化理解とコミュニケーション、異文化摩擦とコミュニケーション、国際地域研究基礎論、留学認定科目（基礎科目・社会）		基礎数学、数学概論、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、線形代数学Ⅲ、線形代数学Ⅳ、解析学Ⅰ、解析学Ⅱ、社会の中の科学、歴史における科学、技術の歩み、科学技術と現代社会、物理の世界、物質と宇宙、エネルギーと環境、環境と社会、生物の成り立ちと生命現象、生命とバイオテクノロジー、留学認定科目（基礎科目・自然）		教養演習ⅠA、教養演習ⅠB、教養演習ⅠC☆、教養演習ⅡA、教養演習ⅡB、教養演習ⅡC☆、日本事情A、日本事情B、日本事情C、ICTベーシックⅠ、ICTベーシックⅡ、ICTエレメンタリー、共通総合講座Ⅰ※、共通総合講座Ⅱ※、国際文化特殊講義Ⅰ、国際文化特殊講義Ⅱ（国際文化特殊講義Ⅰ・Ⅱの履修者は、3学科共通基本科目の要件注意欄を参照）、留学認定科目（基礎科目・総合）						
		◆留学認定科目（基礎科目・人文）の修得単位は、8単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる		◆留学認定科目（基礎科目・社会）の修得単位は、8単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる		◆留学認定科目（基礎科目・自然）の修得単位は、8単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる		※共通総合講座Ⅰ・Ⅱの修得単位は、4単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる ◆留学認定科目（基礎科目・総合）の修得単位は、4単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる						
2言語を選択必修とし、所定の単位（英語は6単位以上、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語および日本語は8単位以上）を修得すること【注意】修得単位は26単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる		英語		ドイツ語		フランス語		中国語		スペイン語		日本語（外国人留学生のみ）		
外国語科目	16	英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ、ACEⅠ、ACEⅡ、ACEⅢ、ACEⅣ、ACE Presentation Skills	ドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱ、ドイツ語Ⅲ、ドイツ語Ⅳ（ドイツ語を選択必修の外国語とする学生は、「ドイツ語Ⅰ」2単位を必修）	フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、フランス語Ⅲ、フランス語Ⅳ（フランス語を選択必修の外国語とする学生は、「フランス語Ⅰ」2単位を必修）	中国語Ⅰ、中国語Ⅱ、中国語Ⅲ、中国語Ⅳ（中国語を選択必修の外国語とする学生は、「中国語Ⅰ」2単位を必修）	スペイン語Ⅰ、スペイン語Ⅱ、スペイン語Ⅲ、スペイン語Ⅳ（スペイン語を選択必修の外国語とする学生は、「スペイン語Ⅰ」2単位を必修）	日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅲ、日本語Ⅳ（日本語を選択必修の外国語とする留学生は、「日本語Ⅰ」2単位を必修）	日本語（上級総合）A、日本語（上級総合）B、日本語（上級口頭表現）A、日本語（上級口頭表現）B、日本語（上級文章表現）A、日本語（上級文章表現）B						
学部間共通外国語		※「学部間共通外国語」科目のうち、政治経済学部で設置している言語科目												
健康・運動科学科目	4	1年次必修2単位	運動学演習Ⅰ-1、運動学演習Ⅰ-2		運動学演習Ⅱ-1、運動学演習Ⅱ-2、生涯スポーツ演習		運動学演習Ⅲ-1、運動学演習Ⅲ-2、運動学演習Ⅳ-1、運動学演習Ⅳ-2、健康・運動科学Ⅰ、健康・運動科学Ⅱ				健康・運動科学科目の修得単位は6単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる			
基本科目	3学科共通基本科目	—	キャリアデザイン総合講座、海外留学演習Ⅰ、海外留学演習Ⅱ 政治学特殊講義Ⅰ、政治学特殊講義Ⅱ、社会学特殊講義Ⅰ、社会学特殊講義Ⅱ、マスコミュニケーション特殊講義Ⅰ、マスコミュニケーション特殊講義Ⅱ、経済学特殊講義Ⅰ、経済学特殊講義Ⅱ、経済政策特殊講義Ⅰ、経済政策特殊講義Ⅱ、地域行政特殊講義Ⅰ、地域行政特殊講義Ⅱ 海外留学演習Ⅲ・海外留学演習Ⅳ、留学準備講座、留学基礎講座 就業力育成総合講座Ⅰ、就業力育成総合講座Ⅱ、就業力育成総合講座Ⅲ、就業力育成総合講座Ⅳ、就業力育成総合講座Ⅴ 留学認定科目（基本科目・3学科共通）				左記の各「特殊講義Ⅰ・Ⅱ」の修得単位は、基礎科目の国際文化特殊講義Ⅰ・Ⅱの修得単位とあわせて、4単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。 修得単位は、卒業に必要な単位数に含めない科目 左記の5科目の就業力育成総合講座の修得単位は2単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。 ◆左記の留学認定科目の修得単位は4単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる。							
	1・2年次配当	42	政治学科の関係科目		経済学科の関係科目		地域行政学科の関係科目							
基本科目	3・4年次配当	—	1年次必修10単位 憲法★、政治学基礎、政治理論基礎、政治学・社会学総合講座 2年次必修4単位 政治学原論★		1年次必修14単位 マクロ経済学★、ミクロ経済学★、経済史★、経済学総合講座 2年次必修 —		1年次必修12単位 憲法★、政治学基礎、政治理論基礎、マクロ経済学★ 2年次必修8単位 行政学基礎、行政理論基礎、地域研究総合講座★							
	—	—	行政学基礎、行政理論基礎、社会学★、ジャーナリズム論、メディアコミュニケーション論、社会科学方法論★、留学認定科目（基本科目・政治学科）		経済原論★、統計学★、数量経済分析、日本経済史★、経済思想★、社会思想史★、社会科学方法論★、留学認定科目（基本科目・経済学科）		民法（総則）、民法（物権）、地方自治法、地域研究論、地域分析法、簿記論★、社会科学方法論★、留学認定科目（基本科目・地域行政学科）							
応用科目	—	—	政治学科の学生は、3・4年次配当の基本科目（政治学関係科目）を12単位修得		経済学科の学生は、3・4年次配当の基本科目（経済学関係科目）を12単位修得		地域行政学科は、3・4年次の選択必修12単位の卒業要件はありません							
応用科目	3学科共通関係科目	—	自治体経営論★、国家論、現代国家分析、国際政治学★、【2017年度以前入学者-都市空間政策、都市行政政策】、【2018年度以降入学者-都市政策、都市行政】、政治過程論★、政治体制論、政治体制変動論、比較政治論★、比較政治論（東アジア）★、計量政治学、政治行動論、国際関係Ⅰ★、アジア政治論、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、現代社会学★、現代社会心理学★、産業心理学、消費心理学、社会調査法、フィールドワーク論、比較社会学★、民俗学、日本民俗社会論、民族学、社会人類学、地域開発論、地域振興論、地域情報論、応用数量分析、国際法★、行政法★、留学認定科目（応用科目・政治学科）		国際経済学★、現代日本経済論★、社会主義経済学★、産業組織論★、経済体制論★、金融論、金融政策、国際金融論★、経済地理学★、地域開発論、地域振興論、地方財政局★、中小企業論★、地域産業論★、人口学★、労働経済学★、社会保障論★、協同組合学★、現代経済政策★、食料経済学★、開発経済学★、国際経済政策★、財政政策★、環境経済学★、財政学★、応用数量分析、留学認定科目（応用科目・経済学科）		地域行政学★、【2017年度以前入学者-都市空間政策、都市行政政策】、【2018年度以降入学者-都市政策、都市行政】、自治体経営論★、地方財政論★、社会保障論★、行政情報論、公共政策学★、会計学★、行政法★、社会福祉政策論、コミュニティ福祉論、地域産業論★、中小企業論★、協同組合学★、食料経済学★、労働経済学★、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、地域政策論Ⅰ、地域政策論Ⅱ、地域政策論Ⅲ、地域政策論Ⅳ、地域政策論Ⅴ、地域政策論Ⅵ、地域政策論Ⅶ、地域政策論Ⅷ、地域政策論Ⅷ、地域政策論Ⅷ、地域政策論Ⅷ、環境経済学★、地域情報論、人口学★、経済地理学★、地域開発論、地域振興論、応用数量分析、民法（債権）、民法（家族法）、経済法★、地域創造総合講座★、地域研究インターンシップ、留学認定科目（応用科目・地域行政学科）							
	—	—	◆各学科の留学認定科目（基本科目）の修得単位は、8単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる ◆各学科の留学認定科目（応用科目）の修得単位は、14単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる											
応用科目	—	—	日本・アジア文化論Ⅰ、日本・アジア文化論Ⅱ、日本・アジア文化論Ⅲ、日本・アジア文化論Ⅳ、日本・アジア地域論Ⅰ、日本・アジア地域論Ⅱ、日本・アジア地域論Ⅲ、日本・アジア地域論Ⅳ、ヨーロッパ文化論Ⅰ、ヨーロッパ文化論Ⅱ、ヨーロッパ文化論Ⅲ、ヨーロッパ文化論Ⅳ、ヨーロッパ文化論Ⅴ、ヨーロッパ地域論Ⅰ、ヨーロッパ地域論Ⅱ、ヨーロッパ地域論Ⅲ、ヨーロッパ地域論Ⅳ、ヨーロッパ地域論Ⅴ、アメリカ文化論Ⅰ、アメリカ文化論Ⅱ、アメリカ文化論Ⅲ、アメリカ文化論Ⅳ、アメリカ地域論Ⅰ、アメリカ地域論Ⅱ、アメリカ地域論Ⅲ、アメリカ地域論Ⅳ、連環地域文化論Ⅰ、連環地域文化論Ⅱ、連環地域文化論Ⅲ、連環地域文化論Ⅳ、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、留学認定科目（応用科目・3学科共通）				①3学科共通関係科目の修得単位は、24単位まで、卒業に必要な単位数に含めることができる ②3学科共通関係科目の修得単位は、12単位まで、各学科の関係科目に含めることができる ◆③3学科共通関係科目の留学認定科目は、4単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる							
	—	—	専門演習（卒業論文）【4学期間連続履修】											
	—	4	●専門演習（卒業論文）履修者 専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅰ、専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅱ いずれも専門演習担当教員が指定した授業を履修すること ●専門演習（卒業論文）未履修者 原典講読Ⅰ、原典講読Ⅱ											
	—	—	原典講読Ⅲ、原典講読Ⅳ											
	—	—	応用総合講座Ⅰ、応用総合講座Ⅱ、応用総合講座Ⅲ、応用総合講座Ⅳ、応用総合講座Ⅴ、応用総合講座Ⅵ、応用総合講座Ⅶ、応用総合講座Ⅷ、応用総合講座Ⅷ、応用総合講座Ⅷ、応用総合講座Ⅷ、応用総合講座Ⅷ				総合講座科目の修得単位は、4単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる							
	—	—	政治学特殊講義Ⅲ、政治学特殊講義Ⅳ、政治学特殊講義Ⅴ、政治学特殊講義Ⅵ、社会学特殊講義Ⅲ、社会学特殊講義Ⅳ、社会学特殊講義Ⅴ、社会学特殊講義Ⅵ、マスコミュニケーション特殊講義Ⅲ、マスコミュニケーション特殊講義Ⅳ、マスコミュニケーション特殊講義Ⅴ、マスコミュニケーション特殊講義Ⅵ、経済学特殊講義Ⅲ、経済学特殊講義Ⅳ、経済学特殊講義Ⅴ、経済学特殊講義Ⅵ、経済政策特殊講義Ⅲ、経済政策特殊講義Ⅳ、経済政策特殊講義Ⅴ、経済政策特殊講義Ⅵ、地域行政特殊講義Ⅲ、地域行政特殊講義Ⅳ、地域行政特殊講義Ⅴ、地域行政特殊講義Ⅵ、国際文化特殊講義Ⅲ、国際文化特殊講義Ⅳ、国際文化特殊講義Ⅴ、国際文化特殊講義Ⅵ、留学認定科目（応用科目・特殊講義）				①特殊講義科目の修得単位は、6単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる ◆②特殊講義科目の留学認定科目は、4単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる							
	—	—	ICT統計解析Ⅰ、ICT統計解析Ⅱ、ICTデータベースⅠ、ICTデータベースⅡ、ICTメディア編集Ⅰ、ICTメディア編集Ⅱ、ICTアプリ開発Ⅰ、ICTアプリ開発Ⅱ、ICTコンテンツデザインⅠ、ICTコンテンツデザインⅡ、ICT総合実践Ⅰ、ICT総合実践Ⅱ											
	—	—	日本史概論、東洋史概論、西洋史概論、地誌学概論、人文地理学概論、自然地理学概論、法律学概論、倫理学概論				修得単位は、8単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。							
—	—	グローバル人材育成プログラム科目、国際協力人材育成プログラム科目【2019年度以前入学者】、日本ASEAN相互理解プログラム科目【2019年度以前入学者】										左記の科目および他学部履修科目を含め、20単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる		
—	—	実習科目（キャリアサポート実習、社会実習） 大学院政治経済学研究科設置科目、専門職大学院会計専門職研究科設置科目【2018年度より新設】												
合計	124	単位修得		在籍最終学期において新規履修科目を4単位以上修得しなければならない。ただし、大学間および学部間の協定校へのダブルディグリー、デュアルディグリープログラム参加者は、この要件を適用しない。										

★は半期集中科目、☆は通年科目

- (1) 表中の卒業に必要な単位数【基礎科目28単位、外国語科目16単位（外国語科目は26単位を上限）、健康運動科学科目4単位（健康運動科学科目は6単位を上限）、基本・応用科目42単位、原典研究科目4単位】を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位数に含める。
(2) 専門演習を履修しない者、及び未履修者は、別に定めるコース指定の科目を20単位以上修得しなければならない。
(3) 表中の網掛けは、卒業要件に関する説明文章なので、特に注意すること。